

原本作成日 2021年10月21日
改定日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アクリル樹脂系導電塗料(銀銅)
製品番号: PCS-G2028
用途: プラスチック、ガラスへの電磁波シールド、帯電防止

会社名: プラスコート株式会社
住所: 〒613-0024京都府久世郡久御山町森川端91-1
電話番号: 075-632-1568
緊急時の電話番号: 同上
FAX番号: 075-631-4703

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	区分1
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	区分5
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分4
急性毒性(吸入:粉じん)	分類対象外
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(消化器、中枢神経系、腎臓、全身毒性)
	区分2(血液系、呼吸器系、腎臓)
	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系 腎臓 肝臓、眼、末梢神経系)

環境に対する有害性

吸引性呼吸器有害性	区分1(呼吸器:吸入)
水生環境急性有害性	区分2(血液系)
	区分1
	区分2

水生環境慢性有害性

区分外

ラベル要素
絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

極めて引火性の高いエアゾール
引火性の高い液体及び蒸気
飲み込むと有害のおそれ(経口)
吸入すると有害(蒸気)
皮膚に接触すると有害のおそれ(経皮)
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系の障害
消化器の障害
腎臓の障害のおそれ
眠気及びめまいのおそれ
呼吸器系の障害
長期又は反復ばく露による中枢神経系、腎臓、肝臓、末梢神経系、呼吸器(吸入)の障害
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に有害

注意書き:

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレー/ヒュームを吸入しないこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレー/ヒュームの吸入を避けること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や火花による引火を防止すること。
火花を発生しない工具を使用すること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
容器を密閉しておくこと。
容器および受器を接地すること/アースをとること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】

火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
飲み込んだ場合: 吐かせないこと。
眼に入った場合: 水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚(又は毛髪)に付着した場合: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 汚染された作業衣を作業場から出さないこと。
 汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
 ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

【廃棄】

捨てるときは使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから各自自治体の法令にしたがって廃棄すること。

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国/地域情報：

3組成成分情報(化管法、労安法、毒劇法におけるMSDS表示対象物質)

成分名	CASNo.	含有量(wt%)	備考
銀	7440-22-4	約 1	PRTR1種No,82
銅	7440-50-8	約 10	
アクリル樹脂	-	約 4	
メチルエチルケトン	78-93-3	約 9	
酢酸ブチル	123-68-4	約 13	化審法:(2)-731、安衛法:2-(6)-226
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	108-65-6	約 7	化審法:(2)-3144
酢酸イソブチル	110-19-0	約 2	化審法:(2)-731
酢酸エチル	141-78-6	約 1	化審法:2-726
トルエン	108-88-3	約 2	化審法:(3)-2
イソブタノール	78-83-1	約 2	化審法:(2)-3049、安衛法:2-(8)-395
ジメチルエーテル(DME)	115-10-6	約 50	可燃ガス

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。
 皮膚を速やかに流水、シャワー、石鹸で洗うこと。
 医師の手当、診断を受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：頭痛、めまい、咳、息切れ、流涙、角膜障害。
 長期又は反復ばく露の影響：眼、鼻、喉、皮膚の変色(銀沈着；銀中毒)・脱脂を引き起こすことがある。
 眼・皮膚の発赤、眼の痛み、咳、頭痛、息切れ、咽頭痛、腹痛、吐き気、嘔吐。
 遅発性症状：金属熱。
 高濃度のばく露では、目、鼻、のどに刺激を引き起こす。
 吸入による呼吸器官への刺激、息切れ咳、めまい、し眠、頭痛、吐き気、咽頭痛、意識喪失(急性症状)。
 飲込みによる胃腸の刺激、吐き気、嘔吐、下痢。

接触による皮膚の刺激と脱脂及び眼の刺激、発赤、痛み、乾燥、咳、めまい、し眠、頭痛、吐き気、咽頭痛（急性症状）

過度のばく露で麻酔作用、頭痛、めまい、視野狭窄、吐き気、下痢及び意識喪失。

眠気、頭痛、協調運動不能を引き起こす。

皮膚への長期のばく露では、脱脂性があり、乾燥、ひび、皮膚炎、乾燥を引き起こす。

眼：充血、発赤、痛み（急性症状）

経口摂取：灼熱感、吐き気、腹痛、下痢、意識喪失（急性症状）

最も重要な兆候及び症状： 情報なし

応急措置をする者の保護： 火気に注意する。有機溶剤用の防毒マスクがあればそれを着用

医師に対する特別な注意事項： 安静と医学的経過観察が不可欠。

症状は遅れて発現することがあり、過剰にばく露したときは医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤： 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類耐、アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤： 棒状放水、水噴霧、二酸化炭素

特有の危険有害性： 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

蒸気/空気の混合気体は、爆発性である。

消火後再び発火するおそれがある。

加熱により容器が爆発するおそれがある。

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気。

破裂の危険を伴う圧力上昇が起こる。

特有の消火方法： 安全に対処できるならば着火源を除去すること。

散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。

引火点が極めて低い：散水以外の消火剤で消火の効果が無い大きな火災の場合には散水する。

容器が熱に晒されているときは、移動させない。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

金属火災では、密閉法、窒息法消火が望ましい。

消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

全ての着火源を取り除く。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。

低地から離れる。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

環境中に放出してはならない。

回収、中和： 不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学廃棄物容器に入れる。

封じ込め及び浄化の方法・機材： 危険でなければ漏れを止める。

危険区域から立ち退く。

専門家に相談する。

漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。

二次災害の防止策： すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気: 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。
保管	安全取扱い注意事項: すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 消防法の規制に従う。 静電気対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。 ミスト、蒸気、スプレー、粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 眼に入れないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	接触回避: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
	衛生対策: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
	技術的対策: 消防法の規制に従う。
	保管条件: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 酸化剤、強塩基及び強酸から離しておく。 容器は直射日光や火気を避けること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 施錠して保管すること。
	混触危険物質: 「10. 安定性及び反応性」を参照。
	容器包装材料: 消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

組成物質の許容濃度及び管理濃度

物質名	許容濃度(日本産業衛生学会)	管理濃度
銀	0.1mg/m ³	未設定
銅	データ無し	データ無し
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm
酢酸ブチル	100ppm	150ppm
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	未設定	未設定
酢酸イソブチル	150ppm	150ppm
酢酸エチル	200ppm	200ppm
トルエン	50ppm	20ppm
イソブタノール	50ppm	50ppm

設備対策: 消防法の規制に従う。
製造業者が指定する防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。
高熱工程でミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具: **呼吸器の保護具:** 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具: 適切な眼の保護具を着用すること。
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣を着用すること。
適切な顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状:	灰茶色液体	
臭い:	溶剤臭	
pH:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
融点・凝固点:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲:	【噴射剤】 -24.8℃	【塗料】 77～145.8℃
引火点:	【噴射剤】 -41.4℃	【塗料】 -9℃
爆発範囲:	【噴射剤】 27.0/3.4 vol%	【塗料】 データなし
蒸気圧:	【噴射剤】 2537230 Pa(0℃)	【塗料】 データなし
蒸気密度(空気 = 1):	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
比重(密度):	【噴射剤】 0.67	【塗料】
溶解度:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 水に不溶
オクタノール/水分配係数:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
自然発火温度:	【噴射剤】 350℃	【塗料】 354℃
分解温度:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
臭いのしきい(閾)値	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
蒸発速度(酢酸ブチル = 1):	【噴射剤】 データなし	【塗料】 データなし
燃焼性(固体、ガス):	【噴射剤】 データなし	【塗料】 該当しない
粘度:	【噴射剤】 データなし	【塗料】 約80mPa・s(25℃)

10. 安定性及び反応性

反応性: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。

化学的安定性: 湿った空気にはく露すると緑色になる。
アセチレン化合物、エチレノキッド類、アジ化物により衝撃に敏感な化合物が形成される。

危険有害反応可能性: オゾン、硫化水素又は硫黄にはく露すると黒ずむ。
強酸類、強塩基類との接触不可。
アセチレンにより衝撃に敏感な化合物が形成される。
銀の細かい破片と濃過酸化水素溶液は爆発することがある(激しく分解して酸素ガスを放出する)。
乾燥時、アンモニアと接触すると爆発性化合物を生成することが希硝酸や濃硫酸と容易に反応する。火災の危険をもたらす。
湿った空気にはく露すると緑色になる。
強力な酸化剤、強酸、強塩基と反応し、火災や爆発の危険をもたらす多くのプラスチックやゴムを侵す。22℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
強酸化剤と激しく反応して発火する
塩基性物質、還元剤と反応する。
酸化剤との反応により爆発性過酸化物を生成する。
硝酸塩、強酸化剤、強塩基、強酸と反応し、火災や爆発の危険性をもたらす。
加水分解により酢酸とイソブタノールを生じる。
三酸化クロム等の強酸化剤と接触すると発火、爆発する。
酸化剤、アルミニウムと反応して水素ガスを発生する。

避けるべき条件: 高温、火源、直射日光。
加熱。

混触危険物質: 強酸類、強塩基類、濃過酸化水素溶液、アンモニア(乾燥時)、希硝酸、濃硫酸。
アセチレン化合物、エチレノキッド類、アジ化物、酸化剤(塩素酸塩、臭素酸塩、ヨウ素酸塩等)。
強酸化剤、強アルカリ。酸化剤、塩基性物質、還元剤。
酸化剤、塩基性物質、還元剤。
酸化剤、強酸、強塩基、プラスチック、ゴム

アルミニウム

危険有害な分解生成物: 燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素、銅ヒューム。
加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。
蒸気/空気の爆発性混合気体

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報 表1

物質名	急性毒性(LD50,LC50など)				
	経口	経皮	吸入 (ガス)	吸入 (蒸気)	吸入 (粉塵・ミスト)
銀	区分外	区分外	分類対象外	分類できない	分類できない
	-	-	-	-	-
銅	分類できない	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
	-	-	-	-	-
メチルエチルケトン	区分5	区分外	分類対象外	区分5	分類できない
	2483mg/kg	5000mg/kg	-	11700ppm/4h	-
酢酸ブチル	区分外	区分外	分類対象外	区分3	区分3
	14.13g/kg	5000mg/kg	-	2000ppm	156ppm/4h
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分外	区分外	分類対象外	区分外	分類できない
	8532mg/kg	5000mg/kg	-	4350mg/kg	-
酢酸イソブチル	区分外	区分外	分類対象外	区分5	分類対象外
	15400mg/kg	>17400mg/kg	-	8000ppm	-
酢酸エチル	区分外	区分外	分類対象外	区分4	分類できない
	-	-	-	123,000 ppm	-
トルエン	区分5	区分外	分類対象外	区分4	分類できない
	4800mg/kg	-	-	4800ppm	-
イソブタノール	区分5	区分5	分類対象外	区分5	分類できない
	2460mg/kg	3400mg/kg	-	19.2mg/L/4H	-

成分の健康有害性情報 表2

物質名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞変異原性	発がん性
銀	区分外	区分2B	分類できない	区分1	分類できない	分類できない
銅	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
メチルエチルケトン	区分2	区分2B	分類できない	分類できない	区分外	区分外
酢酸ブチル	区分3	区分2B	区分外	分類できない	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分3	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
酢酸イソブチル	区分3	区分2B	情報なし	情報なし	分類できない	データなし
酢酸エチル	区分外	区分2B	分類できない	区分外	区分外	分類できない
トルエン	区分2	区分2B	データなし	データなし	分類できない	分類できない
イソブタノール	区分2	区分2A	情報なし	情報なし	区分外	情報なし

成分の健康有害性情報 表3

物質名	生殖毒性	特定標的臓器(単回)
銀	分類できない	区分1(呼吸器系)
銅	分類できない	分類できない
メチルエチルケトン	区分外	区分1(中枢神経系) 区分2(臓器 肝臓) 区分3(気道刺激性)
酢酸ブチル	区分外	区分(中枢神経系) 区分2(肺) 区分3(気道刺激性)
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	分類できない	区分1(中枢神経系) 区分3(気道刺激性)
酢酸イソブチル	情報なし	情報なし
酢酸エチル	分類できない	区分3(麻酔作用、気道刺激性)
トルエン	区分1A	区分1(中枢神経系) 区分3(呼吸器、眠気及びめまい)
イソブタノール	区分外	区分3(気道刺激性、麻酔作用)

成分の健康有害情報 表4

物質名	特定標的臓器(反復)	吸引性呼吸器有毒性 誤えん有毒性
銀	区分1(眼)、区分1(呼吸器:吸入)	分類対象外
銅	分類できない	分類できない
メチルエチルケトン	区分1(中枢神経系、末梢神経系)	区分2
酢酸ブチル	分類できない	分類できない
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	分類できない	分類できない
酢酸イソブチル	情報なし	分類できない
酢酸エチル	区分外	分類できない
トルエン	区分1(中枢神経系、腎臓、肝臓)	区分1
イソブタノール	区分外	区分2

12. 環境影響情報

成分の水性環境有害性情報

物質名	水性環境有害性(急性)	水性環境有害性(慢性)
銀	分類できない	分類できない
銅	分類できない	分類できない
メチルエチルケトン	区分外	区分外
酢酸ブチル	区分3	区分外
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	区分外	分類できない
酢酸イソブチル	区分3	区分外
酢酸エチル	区分外	区分外
トルエン	情報なし	情報なし
イソブタノール	区分外	区分外

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装:

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

共通: 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従って下さい。

陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従って下さい。

海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従って下さい。

航空輸送: 航空法に定めるところに従って下さい。

国連分類: 3

国連番号: 1950(エアゾール塗料)

危険等級: クラス 2.1(引火性ガス)

容器等級: II

指針番号: 126

15. 適用法令

労働安全衛生法: 施行令別表第1危険物 引火性物質、可燃性ガス
: 特定化学物質 第2類物質含有
消防法: 第4類引火性液体、第一石油類 非水溶性液体
有機溶剤中毒予防規則: 第2種有機溶剤含有物
船舶安全法: 危険物(高圧ガス)
学物質排出把握管理促進法(PRTR法): 第2種指定化学物質含有
航空法: 危規則第12条危険物(高圧ガス)
高圧ガス保安法: 液化ガス、可燃ガス(但し、エアゾールは除外されている)

16その他情報

[主な引用文献]

- ・ GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック(日本塗料工業会)
- ・ モデルMSDS・モデル事例集(日本塗料工業会)
- ・ 原材料物質データベース(日本塗料工業会)
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS関係省庁連絡会議)
- ・ 化学物質総合情報提供システム(製品評価技術基盤機構)
- ・ 安全衛生情報センター オンライン安全情報(中央労働災害防止協会)
- ・ 国際化学物質安全性計画(IPCS)
- ・ 国際化学物質安全カード(ICSC)
- ・ 危険防災急便覧
- ・ 溶剤ポケットブック

注意事項

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお新しい知見によって改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱を対象としたものです。特別な取扱をする場合には、新たに特殊な用途・用法に適した安全対策を講じた上でご使用下さい。
- ・ 本データシートは安全や品質の保証書ではありません。
- ・ 全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱には細心の注意を払っていただくことが必要です。ご使用者・お取扱者各位の責任において安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。